

合言葉は『想いやり』 感染防止対策運動 展開中!

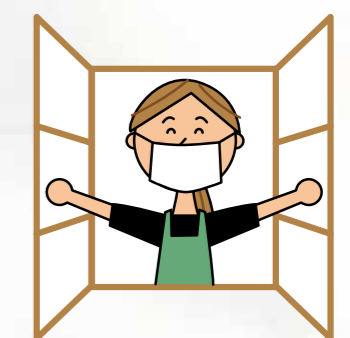
～感染の拡大を防ぎ社会経済を回そう～



仙台商工会議所・みやぎ仙台商工会・仙台市では、感染症の拡大防止と地域経済再生の両立を目指す「仙台感染症対策・地域経済循環プロジェクト」を立ち上げました。その取り組みの第1弾として、「感染防止対策運動」を展開しています。

地域経済を回していくためには、安心して暮らせる日常が何よりも大切。そのためには、市民一人一人が普段から意識を高く持ち、互いを想いやって基本的な感染症対策を徹底すること、そしてそれを継続していくことこそが重要です。

「想いやりの気持ちで感染症対策に取り組む街・仙台」を合言葉に、みんなで心をひとつにして仙台から新しい社会経済の形をつくっていきましょう。



SAFETY GUIDELINES 監修: 賀来満夫 東北医科薬科大学医学部特任教授・東北大学名誉教授

感染防止 想いやり宣言

感染症の拡大を防ぐには、体調不良時は人との接触を避けるなど、相手をつかう「想いやり」の気持ちが大切です。「会社・お店」と「お客さま」どちらも気をつけることで、感染防止の効果を高めましょう。

会社・お店		お客さま	
接客時および定期的な手洗い・消毒	検温をはじめとした従業員の健康管理	来社・入店時の手指消毒	咳エチケットの励行 マスクの着用 (特に会話時)
マスクまたはフェースガードの着用	よく触れる場所の定期的および使用後の消毒	ソーシャルディスタンス	大きな声で話さない
十分な換気	ソーシャルディスタンス	飲食時のグラス、食器、お箸などの使いまわし禁止	検温およびお名前や連絡先の記録協力

STOP! コロナ

仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト | 仙台商工会議所 | みやぎ仙台商工会 | 仙台市

プロジェクトに関するお問い合わせ
 総務広報グループ Tel. 022-265-8182
<https://www.sendaicci.or.jp/corona-pj.html>



心をひとつに感染症対策！ ポスターとガイドブックで感染症対策に取り組もう

マスクの着用や手指消毒の推奨、ソーシャルディスタンス(社会的距離)を確保するための座席間隔や仕切りの工夫。会社やお店では、もはや感染症対策を講じることが当たり前になってきました。そこでよく耳にするのが「うちの店の取り組みは、これで合っているのかな?」という声です。コロナ禍で他社と意見交換できる機会も減っている中では、同じような悩みをお持ちの事業者の方も多いのではないのでしょうか。

そこで本プロジェクトでは、日本野球機構・日本プロサッカーリーグ新型コロナウイルス対策連絡会議の座長も務める、東北医科薬科大学特任教授で東北大学名誉教授の賀来満夫先生監修のもと、基本的な対策項目を分かりやすいピクトグラムで表現したポスターを作成しました。

このポスターのポイントは、「会社・お店の対策だけでなく、「お客さま」にお願したい対策も掲載している点。いくら迎える側がしっかりと取り組んでいても、訪れる側が対策を怠っている場合は、感染拡大を防止することはできません。



ポスターとガイドブックをいつも見える場所に置くことで、常に正しい対策を心掛けたい。ポスターもガイドブックも、仙台市のホームページや、プロジェクトの特設ページからダウンロード可能。

さまざま、みんなが見える場所に掲示して、感染防止対策の意識を高めていきましょう。

また、仙台市でも「仙台感染拡大防止ガイドブック」を作成しました。これは、東北大学病院感染管理室の監修により、飲食店と宿泊施設向けの業種別ガイドラインを再編してイラストを交え分かりやすく解説したものです。

の。飲食・宿泊業に限らず、全業種で対策の徹底に活用できます。例えば手洗いひとつとっても、「やったつもり」では十分な予防効果は得られません。本ガイドブックで正確な方法を見直してみたいかがでしょうか。



ポスターは「会社・お店」と「お客さま」、双方の取り組みを明示している。オフィスやお店の接客カウンターや出入り口付近など、誰もが目につきやすいところに貼ると効果的。

感染者が増えれば、どうしても消費マインドは低下してしまうもの。地域経済の回復を進める前提となるのは、感染症を防止するしっかりとした取り組みを行うことです。感染症対策の敵は「何を今さら」という気の緩み。大切な人と街を守るため、感染症対策をみんなで継続して呼び掛けていきましょう。

ロゴマークを使って感染症対策に取り組む雰囲気高めよう

「仙台感染症対策・地域経済循環プロジェクト」では、「感染防止 想いやり宣言 STOP! コロナ」というフレーズのロゴマークを使用しています。

感染の拡大を防止するには「もし自分が感染していたら」「大切な人が感染症にかかったら」という方が「のことを思い浮かべながら、それぞれが「感染症を拡大させない」という気持ちを持って行動することが大切です。その思いを「想いやり」という言葉で表現しました。

また、「STOP!」の「O(オー)」の字は、2人の人が手を離して距離を保っている様子を上から見たところと、感染症を侵入させない進入禁止の斜め線を表しています。

このロゴマークは、企業・団体の皆さんにも広く利用いただけます。縦書きや横書きなどいろいろなバリエーションを用意していますので、従業員の方の名刺や、製品パッケージなど、ぜひ、さまざまなシーンで活用いただき、全市的な感染症対策に取り組む雰囲気づくりにご協力ください。

感染防止 想いやり宣言
STOP! コロナ
 感染症対策に努めています。

Corporation

ロゴマークの使用は当プロジェクト特設ページ(右ページのURL・QRコード参照)から申請可能。